

2019年11月27日(水)

本日は、午前中に TIC にて CICE の吉田和浩教授による講義があり、午後から霞が関にある文部科学省にて文部科学省総合教育政策局政策課政策審議第一係堀井貴彦係長及び同大臣官房国際課江上真人専門職による講義がありました。

CICE の吉田先生の講義では、始めに政策を分かりやすく分析するための「Problem Tree」と「Solution Tree」を説明されました。さらに、その学んだ分析手法を使いエチオピアやスリランカといった国の政策枠組みを実際に分析しました。



文部科学省内での講義は、始めに堀井係長から「日本における教育制度」をテーマとして、日本の教育制度の法律的枠組みや第3期教育振興基本計画について説明がありました。特に、「超スマート社会(Society 5.0)」の実現に向けた第3期教育振興基本計画に対して研修員は興味を示していました。次に「日本型教育」をテーマとして江上専門職から民間企業と政府がコラボレーションして日本型教育をおこなう EDU-Port プログラムの紹介がありました。さらに、エジプトにおける日本型教育の実践例を紹介されました。



講義後、文部科学省内の展示室「情報ひろば」を見学しました。展示室では、日本における教育制度の起源や文部科学省の歴史、日本の科学、文化に関する展示品が多くあり、研修員もとても興味を持って、記念撮影を楽しんでいました。

リフレクションの時間では、政策と現実には乖離が存在し、その原因はどこからくるものなのか、ギャップを埋めるためにはどんな実践が有効なのか等、本日の講義の内容について議論しました。そこから、更に発展し、自国に戻ってからそのギャップを減らすためには大きな挑戦をしていかなければならないといった前向きな展開となりました。